

『レベルの高いところを受験すること』

レベルの高い製鉄記念八幡看護専門学校を受験するためには、それに達する評定が大切です。1年次の頃から高い評定を取ることができないと行けない学校です。そして、推薦入試は小論文と面接があるため、その対策をしっかりする必要があります。特に小論文は約1,500字近く書く必要があります、たくさん書く練習、そして、どのようなテーマでも書けるように準備することが大切です。ちなみに私は、医療用語とその意味を覚えていきました。色々なテーマを書くことも大切だと思いますが、私は4~5つのテーマを何回も書いて対策しました。面接は、色々な質問を覚えるより、絶対に聞かれる志望動機や高校生活で頑張ったことなど、聞かれそうなものだけを覚えました。練習する時はひとりでボソボソ言うのではなく、先生や友達、そして家族に面接官になってもらい、大きい声で練習することがいいと思います。実際、本番は緊張すると思いますが、面接官の先生は優しく笑顔で聞いてくださるので、リラックスして行うことができます。私は、入試を受ける前に面接より小論文の練習をしました。文を書くことが苦手な人が多いと思いますが、どのような構成で書いていくのか、絶対に書くことは何なのかを確認することが必要だと思います。入試前は各教科の勉強はしていませんが、入試が終わると、生物などの勉強をする必要があります。レベルの高い学校に行くから、入学して遅れないように高校までの知識はある程度身につけておく必要があると思います。

入試当日や前の日などは緊張しますが、たくさん練習することによって、不安は軽減すると思います。スポーツと一緒に練習したことしかできません。短い練習期間を大事にすることで合格につながると思います。

北九州看護大学校 看護科(学校推薦型選抜 公募制)

『たくさんの支えに感謝!!』

私はたくさんの先生、家族、そして友達に支えられたおかげで、北九州看護大学校に合格することができました。北九州看護大学校の入試は、面接・国語・数学・英語があります。この4つの試験で良い点を取り、合格するために教科担当の先生がついて、放課後はほぼ毎日受験指導をしてくださいました。授業の準備や会議などが忙しい中、プリントや過去問の答えを作ってくれた先生方にはとても感謝しています。そして、面接練習をしてくださった先生、推薦書や調査書を作ってください、何回も面接練習や励ましの言葉をくれた担任の先生にも本当に感謝をしています。

休み時間や放課後、そして家に帰っても休みの日もたくさん勉強しました。最初はなかなか点数が上がらなくて落ち込んでいた私に先生方はいつも優しく声をかけてくれました。先生からもらったプリントを何回も解き、数学の問題集を買い、分からないところは何度も解き直しました。すると、過去問を解くたびに点数が上がっていき、私はもっとやる気が出ました。

問題を解けば解くほど必ず点数は上がるし、多くの問題が解けるようになるので、諦めずに頑張ってください。そして、たくさんの支えが周りにはあります。先生や家族、友達にも頼りながら第一志望の大学や専門学校に合格してください。私もたくさんの先生や家族、友達が毎日応援してくれたので、諦めず最後までやりきることができました。その支えてくれている方々に恩返しができるように私も頑張ります。受験が終わるまでたくさん悩みや不安でいっぱいだと思いますが、絶対に最後まで諦めずに頑張ってください。

健和看護学院(一般入試)
よしみず病院附属看護学院(一般入試)

ソフトテニス部

『あきらめないで』

私は2年次の時に、先生から「評定 0.1 足りなくて推薦をしてもらえなかった人がいるよ、だから頑張るなさい」と言われていたのですが、なんとなく甘い気持ちで、「自分は大丈夫だろう」と思っていました。しかし、現実には志望先の推薦規定に平均評点値が 0.1 足りなくて、推薦を申請することもできず、とても悔しい思いをしました。だから、後輩のみなさんは私のようにならないように、定期考査や授業など、学校生活を努力して頑張ってください。そして、志望校である健和看護学院の一般入試において頑張りましたが、2回も不合格になってしまいました。しかし、立ち直って頑張り、先生に勉強を教えてください、と頼んで勉強をしました。その結果、3回目で合格することができたので、頑張って、もし不合格になったとしても、そのたびに立ち直って頑張ってください。努力を続ければ必ず合格できると思います。